

作成日 #####

作成者 京都市都市計画
局住宅室住宅整備課

確認日 2008年2月5日

確認者 京都市都市計画
局住宅室住宅整備課 吹上

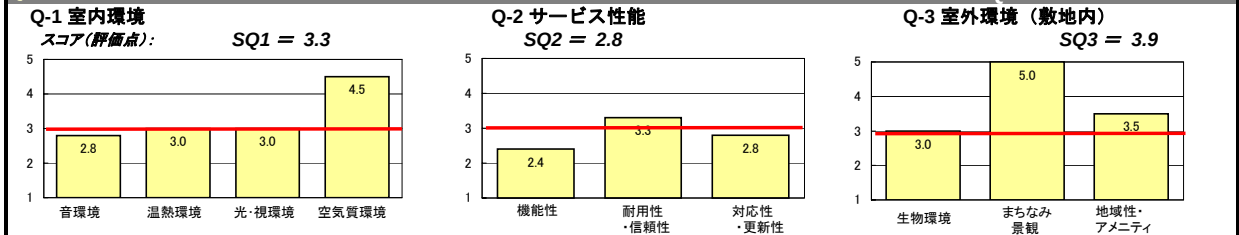
(1) 建物概要

建物名称	京都市崇仁市営住宅南部新2棟(仮称)	敷地面積	1,452 m ²	
建物用途	集合住宅	建築面積	643 m ²	
建設地	京都府京都市	延床面積	2,988 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上6F	
地域・地区	第1種住居地域、準防火地域	構造	RC造	
竣工年	2009年8月 予定	平均居住人員	70 人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

(2)-1 環境性能評価結果 (バーチャート)

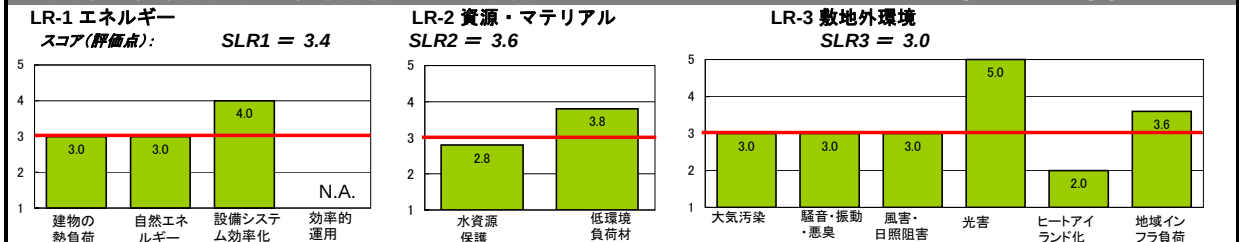
注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)



LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR = 3.3

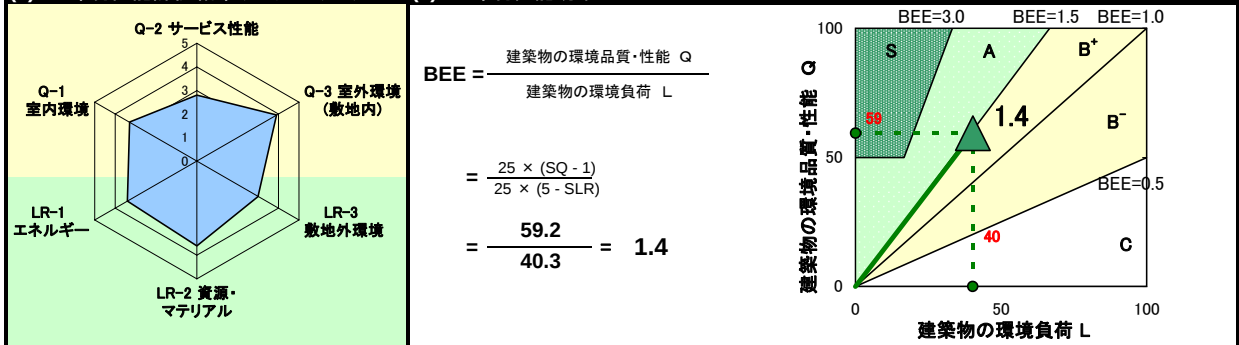


(2)-2 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

(2)-3 環境性能効率

BEE

注2



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²		
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²		
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²		
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²		
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²		
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²		

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関する評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。

BEE: Building Environmental Efficiency